

公益財団法人セゾン文化財団

2022 年度 助成事業

および

自主製作・共催事業

決定のご報告

セゾン文化財団（東京都中央区）は1987年の設立以来、現代演劇・舞踊分野を中心に支援活動を行っています。このたび、2022年度の助成事業および自主製作・共催事業を理事会において決定いたしましたので、ご報告申し上げます。

現代演劇・舞踊助成 助成総件数および総額 39 件 6,500 万円

【内訳】

芸術家への直接支援	26 件
パートナーシップ・プログラム	12 件
寄付プログラム	1 件
フライト・グラント	-

自主製作事業（セゾン・アーティスト・イン・レジデンスほか） 3 件

共催事業 2 件

ご掲載・ご取材に関するお問い合わせ先：

公益財団法人セゾン文化財団 事務局 京橋事務所

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-12-7 京橋山本ビル 4 階

TEL 03-3535-5566 FAX 03-3535-5565

EMAIL foundation@saizon.or.jp

公益財団法人セゾン文化財団 2022年度プログラム構成

助成事業

資金援助や情報提供、また希望する助成対象者には、当財団が運営する演劇・舞踊の稽古専用施設「森下スタジオ」(東京・江東区／大・中・小スタジオ、ゲストルーム)を貸与しています。

1. 現代演劇・舞踊助成「芸術家への直接支援」

- ① セゾン・フェロー: I、II p. 4
- ② サバティカル(休暇・充電) p. 8

2. 現代演劇・舞踊助成「パートナーシップ・プログラム」

- ① 創造環境イノベーション p. 9
- ② 国際プロジェクト支援 p. 10
- ③ 芸術交流活動支援 ー非公募ー p. 11

3. ー寄付プログラムー「次世代の芸術創造を活性化させる研究助成」

p. 11

4. 現代演劇・舞踊助成「フライト・グラント」

p. 11

自主製作・共催事業

自主製作事業

p. 12

- セゾン・アーティスト・イン・レジデンス
- 次世代の芸術創造を活性化させる研究助成事業報告会
- 調査・研究 助成事業評価

共催事業

p. 13

- イキウメ『外の道』 フェスティバル・ドートンヌ・ア・パリ(FAP)招聘公演
- Seminar in Asia 2022

2023 年度の公募についてのお知らせ

募集要項発表／開始は本年(2022 年)8 月を予定しています。

対象となるのは 2023 年 4 月から 2024 年 3 月までの期間に行われる事業です。
(森下スタジオの使用申請期間についても同様です。)

本ご報告は採択された申請内容に基づいて 2022 年 1 月 27 日現在の情報で構成しております。

また、新型コロナウイルス感染拡大などの影響により、変更の可能性がございます。(敬称略)

1. [現代演劇・舞踊助成] 芸術家への直接支援

【41,000 千円】

① セゾン・フェロー I・II

【25 件／40,000 千円】

(旧ジュニア・フェロー／シニア・フェロー)

演劇・舞踊界での活躍が期待される芸術家の創造活動を支援対象としたプログラム。フェローに選ばれると、自らが主体となって行う創造活動に当財団からの助成金を充当することができる。また、助成の一環として、稽古場、ゲストルームの優先貸与、および活動に必要な情報の提供が受けられる。今後が期待される若手(セゾン・フェロー I)および次段階としてさらなる展開、活躍が期待される中堅芸術家(セゾン・フェロー II)を支援する。

セゾン・フェロー I: 2 年間継続助成、1,000 千円/年間

セゾン・フェロー II: 3 年間継続助成、2,500-3,000 千円/年間

※セゾン・フェロー I を経由せずに、II で初めて助成対象となる場合は 4 年間継続(1,000—3,000 千円/年間)

※継続助成: 年度毎に要申請。本年度対象期間は 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

セゾン・フェロー I

【15 件／15,000 千円】

＜新規対象者＞ 継続助成期間: 2022 年度から 2023 年度まで

助成対象者名 【ジャンル】	職業・肩書	団体名	活動拠点	金額 (千円/年間)
おおつか けんたろう 大塚 健太郎 【演劇】	劇作家、演出家	劇団あはひ	東京	1,000
2017 年、「劇団あはひ」を結成。第 2 回公演で<CoRich 舞台芸術まつり! 2019 春>グランプリ受賞。近代的な自然主義的文学(演劇も含む)に疑問を感じ、古典を重んじ、そのなかからより前衛的な表現を確立していくべく活動。ヒップホップにおけるサンプリングの手法を通じて観客と共に古典を再発見し、新たな日本文学の系譜を創造するような作品制作を継続的に行なっている。				
なかま あやか 中間 アヤカ 【舞踊】	ダンサー		兵庫	1,000
ダンス・演劇・パフォーマンスなどジャンルを越えた作品に出演しながら、自身の作品制作も行う。『フリーウェイ・ダンス』は国内外多くのフェスティバル等に招聘されている。「ダンスとしか呼ぶことのできない現象」を追い求め、それが起こる瞬間を他者と共有するための「仕掛け」を創り出す。ダンサーという職業の幅や可能性を広げようと模索している。2018 年度より DANCE BOX アソシエイト・アーティスト。			 撮影: beaborgers	

しもじま れいさ 下島 礼紗 【舞踊】	振付家、演出家、 ダンサー	ケダゴロ	東京	1,000
2013 年、ダンスカンパニー「ケダゴロ」を結成。“ダンスとは、世の中を 探る為の一つの手法である”という理念の元、今日の社会的イシュー や歴史的事件、芸術活動を巡る問題などを切り口に創作に取り組 んでいる。規範や論理では捉えきれない人間の複雑な在り様を、多 くの人々とともに思考することを目的として国内外で活動。“世界の 見方が変わるような表現”で人々の無関心を突く。				
			撮影: 佐藤瑞季	
はしもと ろまんす 橋本 ロマンズ 【パフォーマンス】	演出家、振付家		東京	1,000
コンセプチュアルな手法を用いながらも、ポップ/ストリートカルチャ ーの要素を取り込むことでアートファン以外にも訴える同時代性の 高いパフォーマンスを制作する。作品を構成する全要素に一貫した 美意識とヴィジュアル、様々な文脈を解体し、コラージュの如く再構 築することで作品テーマを多面的に掘り下げるスタイルが特徴。				
あらき まさみつ 荒木 優光 【パフォーマンス】	アーティスト、サウンド・ デザイナー、音楽家		京都	1,000
音の体験やフィールドワークを起点として独自の音場を構築する。 近年はコミュニケーションツールの発展に伴う視聴覚空間の多 様性を踏まえ、新たなフェーズとして「再生」を軸として考察と実践を 進めている。音をはじめ多様な要素を絡めながら、時空間のドラマ 性を取り入れたこれまでにないパフォーマンスを構築している。2020 年、京セラ美術館、2021 年、KYOTO EXPERIMENT で作品発表。				
			撮影: beaborgers	
ちゃんち Jang-Chi 【パフォーマンス】	構成、演出	オル太	東京	1,000
2009 年、「オル太」を設立。共同体に見られる集団的な行為とそこで 繰り広げられるコミュニケーションに着目し、人間の根源的な欲求や 感覚、願望について問いかける。近代化における都市計画や産業 構造、様々な人種やジェンダーのなかで画一的には語れない社会 や歴史、反復構造について、過去の声や記録、民話、出来事など を再編・再演する作品を手がける。				

<新規対象者:2回目> 継続助成期間:2022年度から2023年度まで

助成対象者名 【ジャンル】	職業・肩書	団体名	活動 拠点	金額 (千円/年間)
あなさこ しんいち 穴迫 信一 【演劇】	劇作家、演出家	ブルーエゴナク	福岡	1,000
はぎわら ゆう た 萩原 雄太 【演劇】	演出家	かもめマシーン	東京	1,000
たむら こういちろう 田村 興一郎 【舞踊】	企画、振付家	DANCE PJ REVO	神奈川、 兵庫	1,000

<継続対象者> 継続助成期間:2021年度から2022年度まで (#=2回目の助成対象者)

まつばら しゅんたろう 松原 俊太郎# 【演劇】	劇作家		京都	1,000
ぬかた まさし 額田 大志 【演劇】	演出家、作曲家	ヌトミック	東京、 神奈川	1,000
わだ ながら 和田 ながら 【演劇】	演出家	したため	京都	1,000
くらた みどり 倉田 翠# 【舞踊】	演出家、振付家、 ダンサー	あかきらいく akakilike	京都	1,000
よこやま あやの 横山 彰乃 【舞踊】	振付家、ダンサー	ら ばんしーず lal banshees	東京	1,000
なかざわ あきら 中澤 陽 【パフォーマンス】	舞台作家	スペースノットブランク	東京	1,000

セゾン・フェローⅡ

[10 件／25,000 千円]

＜新規対象者＞ 継続助成期間：2022 年度から 2024 年度まで

助成対象者名 【ジャンル】	職業・肩書	団体名	活動 拠点	金額 (千円/年間)
かみさと ゆうだい 神里 雄大 【演劇】	劇作家、演出家	岡崎藝術座	東京、京都	2,500
2003 年、「岡崎藝術座」を結成。移動・越境する視点を通して、近年は多様で重層的な社会を見つめ直すことを意識しながら作品をつくり、発表している。実際に各地を訪問し、採集したエピソードを元に、世界に開かれた日本語、社会に開かれた作品とは何か、を常に意識している。活動拠点を一箇所に限定せず活動する。また参加する俳優やスタッフの活動地域も同様に一地域に限定しない。2018 年、岸田國土戯曲賞受賞。2011-12、13-14、15-16 年度ジュニア・フェロー。				
たに けんいち 谷 賢一 【演劇】	劇作家、演出家、 翻訳家	DULL-COLORED POP	東京	2,500
2005 年、「DULL-COLORED POP」を旗揚げ。劇作家としては『福島三部作』『丘の上、ねむのき産婦人科』など、緻密な取材と構成力が高く評価されている。社会的に関心の高い話題や原作のある作品を様々な趣向を駆使して演劇というフォーマットに落とし込んでいる。また演出家としても小劇場から大劇場まで幅広く手掛け、人形劇や字幕・映像・コンテンポラリーダンスなどを取り入れた作品を発表している。2019 年、鶴屋南北戯曲賞、岸田國土戯曲賞受賞。 2016-17、18-19 年度ジュニア・フェロー。				
やまもと すぐる 山本 卓卓 【演劇】	劇作家、演出家	範宙遊泳	東京	2,500
2007 年、「範宙遊泳」を設立。幼少期から吸収した映画・文学・音楽・美術などを芸術的素養に、加速度的に倫理観が変貌する現代情報社会をビビッドに反映した劇世界を構築する。アジア諸国や北米で公演や国際共同制作、戯曲提供・ネットワークミーティングなどを行い、活動の場を海外にも広げている(9 ヲ国 13 都市)。アジア・カルチュラル・カウンシル(ACC)2018 グランティアアーティストとして、2019 年 9 月～20 年 2 月にニューヨーク滞在。2022 年、岸田國土戯曲賞受賞。2015-16、17-18 年度ジュニア・フェロー。2020-21 年度、セゾン・フェローⅠ。			 撮影：雨宮透貴	

ねじ ぴじん 【舞踊】	ダンサー、振付家	neji&co.	京都	2,500
自身の体に微視的な視点でアプローチをしたソロダンスや、ダンサーの体を物質的に扱った振付作品を発表する。2020 年に未来への展望を得るためカンパニー「neji&co.」を設立し、京都を拠点に活動を開始する。目的を持たず、動いた瞬間に消え去ってしまうダンスの身振り・手振り、それらを作品として統合する劇場の空間、舞台芸術の時間に注目し、ダンス作品を制作している。 2015-16 年度ジュニア・フェロー。				

<継続対象者>

助成対象者名 【ジャンル】	職業・肩書	団体名	活動 拠点	金額 (千円/年間)	継続助成 期間
スズキ 拓朗 【舞踊】	振付家、演出家	CHAIROIPLIN	東京	2,500	2021-2023
関 かおり 【舞踊】	振付家、ダンサー	関かおり PUNCTUMUN	東京	2,500	2021-2023
神村 恵 【舞踊】	振付家、ダンサー	神村企画	東京	2,000	2021-2024
康本 雅子 【舞踊】	振付家、演出家		東京	2,000	2020-2023
三東 瑠璃 【舞踊】	演出家、振付家	Co.Ruri Mito	東京	3,000	2020-2022
梅田 哲也 【パフォーマンス】	アーティスト		大阪	3,000	2019-2022

② サバティカル ー公募プログラムー

【1 件／1,000 千円】

日本を拠点に継続的に作品を発表し、10 年以上の活動歴を有し、一定の評価を受けている芸術家が、これまでの活動を振り返り、今後の展開のヒントを得る契機となる 1 ヶ月以上のサバティカル(休暇・充電)期間を設け、海外の文化や様々な芸術に触れてもらうことを目的とするプログラム。渡航・滞在費用の一部に対して助成金を交付。

助成対象者名 職業・肩書 【ジャンル】	テーマ	出発予定日 帰国予定日	訪問予定地	金額 (千円)
坂手 洋二 劇作家、演出家 【演劇】	出会い直しの旅へ	2022 年 4 月 1 日 5 月 31 日	アメリカ、ドイツ、イギリス、インドネシアほか	1,000

2. 「現代演劇・舞踊助成」 パートナーシップ・プログラム

【20,000 千円】

① 創造環境イノベーション

【5 件/8,000 千円】

現代演劇・舞踊界が現在抱えている問題点を明らかにし、その創造的解決を目指した新規事業を支援。資金提供の他、必要に応じてワークショップ、会議、シンポジウム等の会場として森下スタジオ、ゲストルームを貸与。3 年を上限に支援。

<新規採択>

助成対象者名 代表者	事業名	事業開始日 事業終了日 開催地	金額 (千円/年間)
一般社団法人 全国小劇場ネットワーク 野村 政之	民間小劇場が連携し、 地域に創造的な環境を築く プロジェクト	2022 年 4 月 1 日 2023 年 3 月 31 日 全国	2,000

<継続採択>

特定非営利活動法人 舞台芸術制作者 オープンネットワーク (ON-PAM) 塚口 麻里子	【2 年度目】 舞台芸術の持続可能な創造 環境に向けての連続講座 2022(仮) 舞台芸術の課題、解決のた めの法律と契約などを学ぶ 講座。	2022 年 4 月 1 日 2023 年 3 月 31 日 オンライン	1,000
特定非営利活動法人 国際舞台芸術 交流センター 丸岡 ひろみ	【2 年度目】 YPAM フリンジ:フリンジ・ソサ エティとフリンジ・センターの 設立と現働化 5 年で、国内最大規模のフリ ンジ・フェスティバルとしてコミ ュニティおよび国内外に認知 を普及し、自律的な運営形態 の確立を目指す。	2022 年 4 月 1 日 2023 年 3 月 31 日 神奈川	2,000
荻野 達也	【最終年度】 舞台芸術ギフト化計画	2022 年 4 月 1 日 2023 年 3 月 31 日 全国	2,000 森下スタジオ
神谷 俊貴	【最終年度】 誰でも使える本格的な稽古 場・作業場「芸術準備室ハイ セン」を整備する	2022 年 4 月 1 日 2023 年 3 月 31 日 滋賀	1,000

国際プロジェクト支援

【5 件/5,500 千円】

演劇・舞踊の国際交流において特に重要な意義を持つと思われる複数年の継続プロジェクトに対して 3 年を上限に助成。希望者には調整の上、森下スタジオ、ゲストルームが優先貸与される。

<新規採択>

助成対象者名 代表者 【ジャンル】	事業名	事業開始日 事業終了日 開催地	金額 (千円/年間)
一般社団法人 shelf 矢野 靖人 【演劇】	交差／横断するテキスト： ミステリーとミスティカルの あいだで	2022 年 7 月 1 日 2023 年 1 月 31 日 ジャカルタ、東京	1,000 森下スタジオ
篠田 千明 【演劇】	Ruwatan と魔除けの リサーチ・作品制作	2022 年 4 月 1 日 2023 年 2 月 28 日 京都、ジョグジャカル タほか	1,000 森下スタジオ
orangcosong 藤原 ちから 【演劇】	演劇クエスト・ 南部アフリカプロジェクト	2022 年 4 月 30 日 2023 年 2 月 28 日 マカンダ(南アフリ カ)、 ダル・エス・ サラーム(タンザニ ア)	1,000

<継続採択>

Wayla Amatathammachad 【演劇】	【2 年度目】 Parallel Normalities: Empowering regional cities with performing arts	2022 年 4 月 1 日 2022 年 11 月 30 日 ルーイ(タイ)、静岡	1,000
東芋シアタープロジェクト 東芋 【パフォーマンス】	【最終年度】 東芋シアタープロジェクト 『もつれる水滴/ Tangled Drop』	2022 年 4 月 1 日 2023 年 3 月 31 日 富山、東京、山口、 沖縄	1,500

芸術交流活動支援 ―非公募プログラム―

【2 件/6,500 千円】

海外の非営利団体との継続的なパートナーシップに基づく芸術創造活動、日本文化の紹介事業、フェローシップ事業等を支援するプログラム。

助成対象者名 代表者 【ジャンル】	事業名	事業開始日 事業終了日 開催地	金額 (千円)
Asian Cultural Council ジュディ・キム 【舞台芸術】	【33 年度目】 ACC Japan-United States Arts Program (JUSAP) Fellowships ACC/Saison Foundation Fellow	2022 年 4 月 1 日 2023 年 3 月 31 日 東京、ニューヨークほか	6,000
Japan Society, Inc. 塩谷 陽子 【演劇】	【2 年度目】 日本現代戯曲英訳版プレイ・ リーディング・シリーズ	2022 年 4 月 1 日 2023 年 3 月 31 日 ニューヨーク	500

3. -寄付プログラム- 次世代の芸術創造を活性化する研究助成

【1 件/500 千円】

2020 年度より開始したプログラム。次世代の芸術創造を活性化する政策提言を目的にした調査、研究活動を支援する。

※本研究助成は、個人から当財団への寄付金を財源の一部としている公募プログラム

助成対象者名 代表者名	事業名	事業開始日 事業終了日	開催地	金額 (千円)
照井 敬生	芸術文化における クラウドファンディング活用に向 けた政策支援の提言	2022 年 4 月 1 日 2023 年 3 月 31 日	全国	500

4. [現代演劇・舞踊助成] フライト・グラント

【3,500 千円】

海外からの招聘に伴う渡航費が緊急に必要な場合の支援プログラム。

(詳細決定次第、当財団ウェブサイトへ掲出)

自主製作事業・共催事業

舞台芸術に関連した多様な事業を、セゾン文化財団が主催・共催する。

【自主製作事業】

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス

海外のアーティスト・イン・レジデンス(AIR)機関や芸術団体間の共同作業のために滞在・研究機会を提供。本年度は<セゾン AIR パートナーシップ>で、双方向の国際文化交流の活性化を目的として、3件のプロジェクトを実施予定。

※新型コロナウイルス感染症をめぐる状況を踏まえてオンライン実施も検討する。

<ヴィジティング・フェロー> (詳細決定次第、当財団ウェブサイトへ掲出)

<セゾン AIR パートナーシップ>

提携機関名 主宰者 活動拠点 【ジャンル】	事業名 実施内容	開催地域 事業開始日 事業終了日
Footscray Community Arts Centre Daniel Santangeli オーストラリア 【演劇】	RESIDENCE Exchange メルボルン西部郊外のコミュニティ・アーツセンターとの交流事業。地域コミュニティをテーマにアーティストの交換事業を実施。 2021年度延期事業	メルボルン、東京 日本滞在： 2022年9月1日～ 30日（調整中）
Mapped to the Closest Address Alex Viteri ドイツ 【演劇】	G Project: World constellations through poetic performing encounters 劇作家アレックス・ヴィテリと振付家吉田駿太郎との共同制作。生態系や環境を等価に捉えてリサーチしながらリサーチ・パフォーマンスとして結実させる。 2021年度延期事業	ベルリン、東京、 新潟 日本滞在： 2022年8月1日～ 31日（調整中）
コムーネ・ディ・バツサー ノ・デル・グラッパ (イタリア) ラ・ブリケトリー・ヴァ ル・ド・マルヌ国立振 付開発センター (フランス) 衛武宮国家芸術セン ター(台湾) 九龍アートセンター (香港)	Museum of Human E-Motions 日本・イタリア・フランス・台湾・香港ダンス交流事業。各国から一名の振付家/ダンサーが参加し、「身体」と「感情」をキーワードに交流事業を実施。2018-2021年に引き続き4回目の開催。	バツサーノ・デル・グ ラッパ、パリ、高雄、 香港、東京 日本滞在： 2022年9月～ 12月（調整中）

次世代の芸術創造を活性化する研究助成事業報告会

「文化芸術活動を支える地域ネットワークの持続的発展のための公的支援に関する研究(仮)」

2020 年度より開始した「次世代の芸術創造を活性化する政策提言を目的とした調査、研究活動助成」の 2021 年度成果発表およびディスカッションを行う。

期間：2022 年 夏(予定)

会場：オンライン

調査・研究 助成事業評価

「セゾン文化財団助成活動の新たな展開を目指して(仮)」

より良い助成活動を実現するため、35 年にわたるセゾン文化財団の助成事業の評価を実施する。アンケート、インタビュー、座談会、文献調査などの方法で調査・研究を進め、課題を抽出。次代に向けた支援策を考察し事業の再構築をはかる。

期間：2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

【共催事業】

イキウメ『外の道』 フェスティバル・ドートンヌ・ア・パリ(FAP)招聘公演

イキウメは、2017-20 年度セゾン・フェローの前川知大率いる劇団。フランスを代表する舞台芸術のフェスティバル FAP 招聘作品『外の道』(作・演出 前川知大)のパリ公演実施に対し、森下スタジオの稽古場を無償提供する。

共催：パリ日本文化会館、エッチビイ株式会社

期間：森下スタジオ

2022 年 10 月 18 日～31 日 A スタジオ、11 月 1 日～22 日 C スタジオ

公演：2022 年 11 月 22 日～26 日 パリ文化会館

Seminar in Asia 2022

【2 年度目】スイス文化を海外に普及する国際機関 Pro Helvetia と、香港を拠点に国際的にプロデュース活動をする非営利芸術団体 Materialise による事業。35 才以下を対象として、舞台芸術分野で活動するヨーロッパとアジアの若手アーティスト間交流と相互理解の促進を目的としている。舞台芸術の国際フェスティバルを会場に、合宿形式のセミナーを開催する。

※新型コロナウイルス感染症をめぐる状況を踏まえて実施を検討する。

共催：Pro Helvetia、Materialise

期間：未定

会場：未定

森下スタジオ

森下スタジオは、1994年に開館したセゾン文化財団が運営する演劇と舞踊のための専用施設。創作、公演稽古、滞在制作、途中経過発表、ワークショップ、会議、シンポジウム等の会場として助成対象者に貸与している。本館には中規模のAとBスタジオ(109㎡/33坪)、大規模のCスタジオ(238㎡/72坪)、また新館には小規模のSスタジオ(77㎡/23坪)やゲストルーム、ラウンジがある。各スタジオにはスタッフルーム、ロッカールーム、倉庫等を付帯しており、シャワールームや会議室なども利用可能。

〒135-0004 東京都江東区森下 3-5-6

TEL: 03-5624-5951

電話受付時間: 月～日/午前10時～午後9時

FAX: 03-5624-5950

【アクセス】

- 都営地下鉄新宿線、大江戸線「森下駅」
A6出口徒歩5分
- 東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄大江戸線「清澄白河駅」
A2出口徒歩10分



公益財団法人セゾン文化財団 京橋事務所

本助成プログラムに関するお問い合わせは、京橋事務所宛にお願いいたします。

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-12-7 京橋山本ビル 4階

TEL: 03-3535-5566

FAX: 03-3535-5565

受付時間: 平日・月～金/午前10時～午後6時

EMAIL: foundation@saizon.or.jp

※件名を「問い合わせ」としてください

URL: <https://www.saizon.or.jp>

@SaisonFound

<https://www.facebook.com/thesaizonfoundation>

【アクセス】

- 都営地下鉄浅草線「宝町駅」A1出口徒歩1分
- 東京メトロ銀座線「京橋駅」1番出口徒歩5分
- 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」10番出口徒歩7分
- JR京葉線、東京メトロ日比谷線「八丁堀駅」
A3出口徒歩7分
- JR「東京駅」八重洲口徒歩15分



法人賛助会員および個人からのご支援に深く感謝いたします。(2022年3月現在/50音順)

【法人賛助会員】

セゾン投信株式会社	https://www.saizon-am.co.jp/
東京テアトル株式会社	https://www.theatres.co.jp/
株式会社パルコ	https://www.parco.co.jp/
株式会社良品計画	https://ryohin-keikaku.jp/

【ご寄付】

市村作知雄様 小野晋司様 中野晴啓様 中村恩恵様 吉本光宏様

公益財団法人セゾン文化財団
2022 年度〈現代演劇・舞踊対象 公募プログラム〉申請概況
セゾン・アーティスト・イン・レジデンスを含む

芸術家への直接支援				
プログラム名	目的	対 象 事 業	申請数	採択数
セゾン・フェロー Ⅰ (旧ジュニア・フェロー) Ⅱ (旧シニア・フェロー)	芸術家の創造活動を支援	芸術創造に関わる活動全般 (原則複数年の継続支援)	Ⅰ	
			80*	15
			Ⅱ	
			14*	10
サバティカル (休暇・充電)	舞台芸術家による異文化体験の機会を提供	日本を拠点に活動する演出、振付、劇作の専門家による、1ヶ月以上の海外渡航	1	1
小計			95	26

*セゾン・フェロー Ⅰ 継続助成 6 件、Ⅱ 継続助成 6 件を含む

パートナーシップ・プログラム 寄付プログラム				
プログラム名	目的	対 象 事 業	申請数	採択数
創造環境 イノベーション	現代演劇・舞踊界が現在抱えている問題点を明らかにし、その創造的解決を目指した新規事業を支援	舞台芸術の価値をより多くの人々に理解してもらうための取り組みや観客拡大策	19	5
国際プロジェクト支援	現代演劇・舞踊の国際的な活動において特に重要な意義を持つと思われる継続プロジェクトを支援	海外のパートナーとの相互理解に基づき、作品もしくはテーマの定まった2年以上にわたって発展していく国際的な事業	12*	5
－寄付プログラム－ 次世代の芸術創造を 活性化する研究助成	次世代の芸術創造を活性化する政策提言を目的とした調査、研究活動を支援	Ⅰ 現代演劇や舞踊界の創造を持続可能にする構想の提案 Ⅱ 文化政策の制度や仕組みの革新を促す政策提言	3	1
小計			34	11

* 国際プロジェクト支援継続 2 件を含む

合計

129	37
-----	----

注) 非公募採択の 2 件(芸術交流活動支援)は除く

以上